

2019年度 C F C教科別シラバス

教科名：デザイン画Ⅰ 服装学科1年 40時間/週1時間

授業の解説（担当はアパレル企業での実務経験者）

ファッションを生み出すとき、その表現法として必要なデザイン画、基本的なプロポーションのとり方、顔の表現、ポーズのつけ方から学ぶ。ハンガーイラスト、アイテム、ディテール名称も交え、着装・着色が出来ることを目標とする。

評価基準

出席率、授業態度、テーマ毎に提出する作品の完成度により総合的に評価する。

使用テキスト

「ファッションデザイン画」 文化ファッション大系 文化服装学院編

カリキュラム・スケジュールの概略

- ・プロポーションのとり方
- ・ポーズのとり方
- ・顔の描き方<提出課題①>
- ・ハンガーイラスト（アイテム図）の描き方
- ・着装の方法
- ・絵具着色技法・ペン入れ<提出課題②～④>
- ・夏休み宿題<提出課題⑤>
- ・写真を使った練習（写真デッサン）<提出課題⑥>
- ・素材感の表現法<提出課題⑦～⑨>
- ・メンズの描き方
- ・学年末単位認定試験

2019年度 C F C 教科別シラバス

教科名：デザイン画Ⅱ 服装学科2年 40時間/週1時間

授業の解説（担当はアパレル企業での実務経験者）

- ・オリジナリティーのある発想，表現方法ができるようサンプルなどを見せて解説する。
- ・バランス，色など写真スケッチなどで見る力を養う。

評価基準

課題がオリジナリティーのある発想，表現方法であるか、市場を意識したデザインであるか総合的に判断する。

使用テキスト

『ファッションデザイン画』文化ファッション大系 文化服装学院編

カリキュラム・スケジュールの概略

——前期——

<コンテスト対策>

- ・デザイン出しの方法
- ・表現方法の研究

<基礎>

- ・ポーズのとり方
- ・ハンガーイラスト
- ・ディテール，素材表現

——後期——

<コンテスト対策>

- ・より多くのデザイン出しとデザインのまとめ方
- ・効果的な表現方法（くずし絵）

<基礎>

- ・市場を意識したデザイン出しからの着色作品
- ・ディテール，素材表現

※基礎 TOTAL ファイルNo.1～19

2019年度 C F C教科別シラバス

教科名： 手芸 服装学科1年 40時間/週 1時間

授業の解説

- ・市場やコレクションを見て、トレンド及び売れ筋の雑貨商品を探り、実習物に合わせたアイテムを決定させる。
- ・アイテム製作時に、それらのトレンドや構造等も指導する。
- ・流通学科主催のイベントの際にそれに合わせたディスプレイ用品や、雑貨アイテムを製作する。
- ・アイテム完成後、カメラワーク等を通してコーディネート能力も採点する。

評価基準

出席率、授業態度、課題提出物により総合的に評価する。

使用テキスト

製作アイテムによってオリジナルプリントを配布。
トレンド分析では、ファッションニュースやWWDを使用。

カリキュラム・スケジュールの概略

——前期——

- ・手芸とは
- ・SSトレンド雑貨分析
- ・アップリケアクセサリー
- ・コサージュ
- ・刺繍アクセサリー
- ・三角ポーチ

——後期——

- ・AWトレンド雑貨分析
- ・キルティングバッグ
- ・ハロウィン刺繍
- ・クリスマス刺繍
- ・VMD（卒業制作）にあわせた雑貨アイテム・ディスプレイ用品

2019年度 C F C教科別シラバス

教科名： 手芸 服装学科2年 40時間/週 1時間

授業の解説

- ・市場やコレクションを見て、トレンド及び売れ筋の雑貨商品を探り、実習物に合わせたアイテムを決定させる。
- ・アイテム製作時に、それらのトレンドや構造等も指導する。
- ・流通学科主催のイベントの際にそれに合わせたディスプレイ用品や、雑貨アイテムを製作する。
- ・アイテム完成後、カメラワーク等を通してコーディネート能力も採点する。

評価基準

出席率、授業態度、課題提出物により総合的に評価する。

使用テキスト

製作アイテムによってオリジナルプリントを配布。
トレンド分析では、ファッションニュースやWWDを使用。

カリキュラム・スケジュールの概略

——前期——

- ・手芸とは
- ・SSトレンド雑貨分析
- ・石塑粘土アクセサリ
- ・染色
- ・レザーアクセサリ

——後期——

- ・AWトレンド雑貨分析
- ・刺し子がまぐちアイテム
- ・ハロウィン雑貨
- ・クリスマス雑貨
- ・VMD（卒業制作）にあわせた雑貨アイテム・ディスプレイ用品

2019年度 C F C 教科別シラバス

教科名：服飾デザイン 服飾学科 2年 20 時間/週 0.5 時間

授業の解説（担当はアパレル企業での実務経験者）

ファッションデザインの発想と表現方法などに関する知識と技術を習得させ
ファッションを想像的にデザインする能力を身に付ける。

評価基準

出席率、授業態度、提出課題により総合的に評価する。

使用テキスト

参考文献：FASHION DESIGN BASICS
FASHION DESIGN RESOURCE

カリキュラム・スケジュールの概略

- ・デザイン発想 1（平面：線の視覚効果）
線の視覚的効果を学習した上で直線や曲線を使ってデザイン発想をし、
イメージを具体化する過程を理解する。
- ・デザイン発想 2（立体：紙）
想像的につくり出した紙の立体物から発想を得て、イメージを具体化する
過程を演習し、ファッション画によって表現する。
- ・モードデッサン
モード写真を基に写實的にデッサンする技術を習得する。
- ・デザイン発想 3（平面構成：ミックス）
シルエット、ディテールとアイテムの形態について理解し、固定概念に
とらわれないイメージの具体化を学ぶ。
- ・デザイン発想 4（テーマ 自然）
テーマに沿ったリサーチを基にマップを製作し、そこからデザイン出しの
作業を経てデザイン画に表現する過程を理解し、実践的に取り組む。
- ・C F C ポートフォリオ
テーマから各自リサーチを行いイメージマップを製作。
その後、各グループでポートフォリオ製作する。

2019年度 C F C教科別シラバス

教科名：洋裁実習 I 服装学科 1 年 400 時間/週 10 時間
<p><u>授業の解説</u>（担当はアパレル企業での実務経験者）</p> <p style="text-align: center;">被服製作の為の基礎知識、製作技術を学ぶ。</p> <p style="text-align: center;">（実寸パターン・縫製）</p>
<p><u>評価基準</u></p> <p style="text-align: center;">出席率、授業態度、課題提出物により総合的に評価する。</p>
<p><u>使用テキスト</u></p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-left: 20px;"> <div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 5px;"> <p>『服飾造形の基礎』</p> <p>『スカート・パンツ』</p> <p>『ブラウス・ワンピース』</p> <p>『ジャケット・ベスト』</p> </div> <div style="font-size: 3em; margin: 0 10px;">}</div> <div style="margin-left: 10px;"> <p>文化ファッション大系 文化服装学院編</p> </div> </div> <p>『接着芯の本』 文化出版局</p>
<p><u>カリキュラム・スケジュールの概略</u></p> <p style="text-align: center;">——前期——</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定規袋（パターン・縫製） ・ ギャザースカート（パターン・縫製）・デザインスカート（経験者クラスのみ） ・ 身頃原型補正（パターン・仮縫い） ・ 基礎縫い ・ 部分縫い（カギ明き・コの字明き・縫い目明き・シャーリング・折伏せ縫い・袋縫い etc） ・ 規定ワンピース（パターン・縫製） ・ 長袖規定ブラウス（パターン・縫製） ・ デザインブラウス（パターン・縫製）（経験者クラスのみ） <p style="text-align: center;">——後期——</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パンツ（ベルト通し、ポケットベルト付け、本股明き）（パターン・縫製） ・ 部分縫い（シャーリング、etc） ・ テーラードジャケット（裏無し・肩パッド有・二枚袖・袖口明き見せ・肩パットのくるみ） （パターン・縫製） ・ 帽子 ・ C F Cファッションコンテスト作品（パターン・縫製） ・ 部分縫い（釦ホール・テープを使った始末） ・ スカート（裏付き、後ろファスナーベンツ明き（パターン・縫製）） ・ 修了作品（パターン・縫製）

2019年度 C F C 教科別シラバス

教科名：洋裁実習Ⅱ 服装学科2年 400時間/週 10時間

授業の解説（担当はアパレル企業での実務経験者）

リサーチを通じて集めた情報を整理・分析し、テーマに基づきデザインした作品を原型から作図・シルエット点検・縫製し、ファイリングして提出する。

情報分析にはマーチャンダイジング担当教員、講義内容は講義担当教員に一任する。

また、パターンを作図すると同時期に、CADにて同じ作図を書く。

現在のアパレルのスピードと完成度により近づける基礎知識を増やす。

評価基準

出席率・課題提出率・プレゼンテーション・授業態度を加味し、課題提出物の出来具合を50パーセントの評価内容として総合的に評価する。

使用テキスト

『スカート・パンツ』 『コート・ケープ』 『スーツ・ベスト』 『特殊素材』	}	文化ファッション大系 文化服装学院編
--	---	--------------------

カリキュラム・スケジュールの概略

——前期——

- ・ジャケット
- ・ワンピース（ブラックドレス）
- ・ジャージー素材の作品

——後期——

- ・パンツ
- ・パニエ（1/2）
- ・子供服

いずれも原型より作図 → トワルチェック → 工業用パターン作図 → 縫製 → ファイルイングの流れで製作させる

- ・C F Cファッションコンテスト作品

- ・卒業作品

いずれも原型より作図 → トワルチェック → 工業用パターン作図 → 縫製 → ファイルイングの流れで製作させる

* 前期・後期で1型ずつCADにてパターンを作図し、アパレルの流れを確認する。

2019 年度 C F C 教科別シラバス

教科名：洋裁理論 I 服装学科 1 年 200 時間/週 5 時間

授業の解説（担当はアパレル企業での実務経験者）

被服作製の為の基礎知識、製作技術を理論的に学ぶ。

既製服の商品知識・生産流通過程を学び効率的かつ正確なもの作りの知識を得る。

評価基準

出席率、授業態度、課題提出物、定期試験により総合的に評価する。

使用テキスト

『服飾造形の基礎』
『スカート・パンツ』
『ブラウス・ワンピース』
『ジャケット・ベスト』
『帽子』『刺繍』

文化ファッション大系 文化服装学院編

『接着芯の本』文化出版局

『ファッションビジネス能力検定試験 3 級ガイドブック』

財団法人日本ファッション教育振興協会

カリキュラム・スケジュールの概略

——前期——

服飾造形概説
衣服製作の為の用具
人体計測
基礎縫い
衣服製作の為の基礎知識
スカート原型の仮縫い・補正
身頃原型の仮縫い・補正
スカート・ブラウス製作手順 (R T W)
素材・シルエット・ディテール
商品知識・サイズの知識
ワンピース製作手順 (R T W)

——後期——

パンツ製作手順 (R T W)
ベルト通し・ベルト付け・本股明き
刺繍
テーラードジャケット (裏無し) 製作手順 (R T W)
パッチポケット
二枚袖・明きみせ
肩パッドの付け方
ジャケットにおけるアイロン工程
帽子
アパレルメーカー商品生産知識
工場生産・流通知識
スカート (裏つき)

2019年度 C F C 教科別シラバス

教科名：洋裁理論Ⅱ

服装学科 2年

160 時間/週 4 時間

授業の解説 (担当はアパレル企業での実務経験者)

洋服の構造を理解し、専門的な知識と技術を習得し、それぞれの基本的な服種 (アイテム) の「服作り」を通して服飾全般の知識と応用を学び、製作工程を把握する。

評価基準

出席率、授業態度、定期試験により総合的に評価する。

使用テキスト

『スカート・パンツ』

『コート・ケープ』

『スーツ・ベスト』

『特殊素材』

} 文化ファッション大系 文化服装学院編

カリキュラム・スケジュールの概略

・ラグラン仕様について

商品知識、仕立てによる名称、比翼仕立て、略比翼仕立て、ふらせ仕立て、半裏仕立て、背ぬき仕立て

・柄合せについて

柄の知識、大柄、花柄、ストライプ、ボーダー、格子の柄合せ

・ジャケットについて

総裏仕立て、2枚袖、ポケット

・パンツについて

総裏仕立て、持ち出し付きファスナーあき、シームポケット

・フォーマルについて

商品知識

・シャーリング、プリーツ、スリットについて

・子供服

体型

・ファーについて

・ジャージ素材について

2019年度 C F C 教科別シラバス

教科名：立体裁断 服装学科2年 40時間/週 1時間

授業の解説（担当はアパレル企業での実務経験者）

立体裁断は、よいパターンを作ることが究極の目的である。

正しく布目を読み取る視覚の重要性を認識させた上で、一枚の布を適切に扱って基本のシルエットを表現出来るようにする。

評価基準

- ・ 基礎的な部分（ピンの打ち方、地の目線の直し方、トワルの扱い方）が習得出来ているか。
 - ・ 適切な方法で決められたシルエットになっているか。
 - ・ 出席日数、授業態度、定期試験
- 以上を総合的に評価する。

使用テキスト

『立体裁断 基礎編』 文化ファッション大系 文化服装学院編

『プリント』 立体裁断研究書「パターンメイキングの原理」大野順之助著

カリキュラム・スケジュールの概略

——前期——

- ・ 立体裁断について
- ・ ボディ、ピンの打ち方、地の目直しの説明
- ・ ストレートスカート（ドレーピング、ドラフティング）
- ・ Aラインスカート（ドレーピング、ドラフティング）
- ・ フレアースカート（ドレーピング）

——後期——

- ・ 身頃原型（タイトシルエット、ドレーピング、ドラフティング）
- ・ 身頃原型利用してダーツ移動、タック、ギャザーに展開
- ・ オーバーブラウス（ドレーピング、ドラフティング） 衿つけ
- ・ 学年末試験として、オーバーブラウスを規定時間内に組み上げる。